

環境の現地観測のお知らせ（鳥類）

1．経緯

平成17年6月にPⅠ外環沿線会議で調査地域内において、オオタカの営巣に関連する情報が寄せられたことから、関係機関等から情報収集をしました。

情報収集の結果、東京都環境局にも営巣の可能性があるとの情報が寄せられていたこと等から、平成17年8月から平成18年3月にかけて追加調査を実施しました。平成18年2月下旬から1箇所で造巣行動が確認されたため、平成18年4月以降も継続して調査を実施することとしました。

なお、調査にあたっては、オオタカの繁殖に関連する情報について、地元の住民ボランティアグループ等の方々と情報交換を行っています。

2．観測内容

平成18年7月の現地観測は、任意踏査によりオオタカの利用痕跡を確認するとともに、定点調査によりオオタカの動向を把握しました。また、平成18年6月に育雛、巣立ちが確認された場所において繁殖状況調査を行いました。

3．観測時期

平成18年7月の現地観測は、以下のとおり行いました。

- 任意踏査、繁殖状況調査：平成18年7月10日
- 定点調査：平成18年7月11～13日

4．観測方法

観測は、目視（望遠鏡を設置等）等により行いました。

5．観測結果

平成18年7月の現地観測結果は、以下のとおりです。

- ・オオタカのものと推定される食痕等は確認されませんでした。
- ・平成18年6月に育雛、巣立ちが確認された場所周辺で、幼鳥1個体と親鳥1個体の飛翔、とまり等の行動が確認されました。

なお、これらの繁殖情報は、東京都環境局に報告しています。また、繁殖の状況については、地元の住民ボランティアグループが監視活動を行っています。



飛翔する幼鳥
（平成18年7月10日撮影）



樹上にとまる幼鳥（左写真と同一個体）
（平成18年7月12日撮影）



餌を運ぶ親鳥
（平成18年7月13日撮影）

6．今後の予定

親鳥と幼鳥がともに営巣地周辺に留まっていることから、^{すがいくすう}巣外育雛・家族期にあたるものと判断されました。今後、確認された幼鳥が分散（親鳥からの独立）するまでの間（一般的には8月頃）巣立ち雛、親鳥の動向把握等を中心に観測を継続します。その後は必要に応じて目視等による確認を行うことを検討します。

なお、観測結果については、東京外かく環状道路調査事務所ホームページで公表する予定です。

オオタカの繁殖に関連する位置情報の公表は、繁殖に関連する行動を阻害する可能性があるため、控えさせていただきます。